

今月は、6月16日の父の日を前に「イクメン」と題し、これに関するコラムや、その他ワーク・ライフ・バランスに関する施策紹介や調査結果、最新の動き等についてお送りします。

.....

(目次)

《コラム》

「イクメン」

特定非営利活動法人ファザーリング・ジャパン 代表理事 吉田大樹氏

《制度施策紹介 ～人事担当の皆様へ～》

●「くるみん」マークの取得にウェブサイトをご活用ください【厚生労働省】

《企業事例紹介》

●休暇を積極的に楽しもう！「ポジティブ・オフ」運動 取組事例を掲載中！【観光庁】

《最新情報》

●お知らせ

・労働法を分かりやすく解説した「知って役立つ労働法」を改訂【厚生労働省】(2013年5月) 他

●地方公共団体等の動き

・平成25年度女性のチカラを活かす企業認証制度【宮城県】(2013年5月) 他

●イベント(開催日順に掲載)

・あすてらすフェスティバル2013【主催：公益財団法人しまね女性センター】 他

《統計・調査トピックス》

●父親の育児に関する調査研究～育児休業取得について【財団法人こども未来財団】(2011年3月) 他

.....

《コラム》

「イクメン」

特定非営利活動法人ファザーリング・ジャパン 代表理事 吉田大樹氏

ファザーリング・ジャパン(FJ)では、これまで“「良い父親」ではなく、「笑っている父親」になろう”をミッションとして、講演やイベント、スクールなど様々な事業に取り組み、父親の意識啓発を促してきました。特に、2009年頃からは「イクメン」という言葉が流行ったことを契機に、より育児に積極的な父親が増えてきた一方で、まだまだ働き方自体が変わらないために、板挟みとなり、悩んでいる父親を多く見かけます。子どもと

の信頼関係を構築するためには、より多くの時間を要します。多くの父親はその時間が確保できずにいます。やはり働き方を見直し、長時間労働の体質を変えることが絶対条件だと思えます。

そこで、ワーク・ライフ・バランスを推進するという目標を掲げる企業が増えてきましたが、制度の導入に留まってしまいう企業が多いと思えます。結局は「魂」を入れなければならないわけですが、ワーク・ライフ・バランスという言葉が軽く捉えられてしまっているような気がします。そこで、最近では、「仕事と生活の調和を図る」ではなく、「人生における仕事のバランスをどうするのか」ということを意識してもらうようにしています。働いている期間としては、現在のところ40～45年ほどですが、定年後も20年、30年生きるということを考えれば、定年後の活動の種まきは働いている間にやらなければならないこととなります。特に、地域活動をすることでネットワークが広がることから、「イクメン（地域で活躍する男性）になろう」ということを積極的に訴えています。

働いている人は働いている企業だけで活動するのではなく、家事や子育て、地域活動など、様々な活動をこなすことで人生をより豊かなものにしていきます。それは、企業の活動にも還元されるものであり、企業の活力にもつながります。企業担当者の方にはそうしたことを意識しながら施策に取り組むことが求められるのではないかと思います。

.....

《制度施策紹介～人事担当の皆様へ～》

● 「くるみん」マークの取得にウェブサイトをご活用ください【厚生労働省】

厚生労働省では、従業員の子育て支援に取り組む企業を「子育てサポート企業」として認定しています。

認定を受けた企業は、求人広告や商品に「認定マーク（くるみん）」を付けて、仕事と子育ての両立に配慮のある会社であることをアピールできます。さらに、一定期間内に取得・新築・増改築した建物について、認定を受けた事業年度に限って割増償却（普通償却限度額の32%）できる税制優遇制度もあります。

申請には、子育て支援についての「行動計画」の提出が必要ですが、このたび、仕事と家庭の両立支援に関する情報サイト「両立支援のひろば」で、簡単に計画を作ることができるようになりました。また、自社の取り組みが遅れている項目を確認することもできます。「くるみん」マーク取得に向けて、「両立支援のひろば」サイトをぜひご活用ください。

（両立支援のひろば）

⇒ [https://www.ryouritsu.jp/ryouritsushihyou/pages/proposal\\_flow](https://www.ryouritsu.jp/ryouritsushihyou/pages/proposal_flow)

（「くるみんマーク」紹介パンフレット）

⇒ <http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/pamphlet/26.html>

（子育てサポート企業に対する税制優遇制度）

⇒ <http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/dl/jisedaihou.pdf>

.....

《企業事例紹介》

●休暇を積極的に楽しもう！「ポジティブ・オフ」運動 取組事例を掲載中！【観光庁】

- ・東日本高速道路会社（NEXCO 東日本）

東日本高速道路株式会社（NEXCO 東日本）は、ワーク・ライフ・バランスの取組として、時間外労働の削減、業務の効率化（タスクダイエツト活動）等を中心に推進してきた。

休暇制度は、育児休業や介護休暇、ボランティア休暇、夏季休暇など、2005年の民営化以前からも各種が設定されていたが、民営化後の近年は、次世代育成支援の強化などの目的で、無給だった育児休業の一部有給化など、制度面の更なる充実に取り組んでいる。

「ポジティブ・オフ」運動 取組企業・団体の事例掲載中！

⇒ [http://www.mlit.go.jp/kankocho/positive-off/torikumi/page02\\_000039.html](http://www.mlit.go.jp/kankocho/positive-off/torikumi/page02_000039.html)

.....

《最新情報》（原則として、発行月の前月以降に更新された内容を掲載しています。）

●お知らせ

- ・労働法を分かりやすく解説した「知って役立つ労働法」を改訂【厚生労働省】（2013年5月）

厚生労働省では、労働法の基本的なポイントを分かりやすく解説したハンドブック「知って役立つ労働法」を改訂しました。働く際に知っておきたい基本的な知識はもちろん、各種制度の最新情報を盛り込んでいます。新入社員研修や職場で、ぜひご活用ください。

⇒

[http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/roudouseisaku/dl/roudouho\\_u.pdf](http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudouseisaku/dl/roudouho_u.pdf)

- ・仕事と家庭の両立支援制度「制度利用者の声」【厚生労働省】（2013年5月）

厚生労働省における「制度利用者の声」のほか、「制度の紹介」や「育児休業の利用状況」について掲載しています。

⇒ <http://www.mhlw.go.jp/kouseiroudoushou/saiyou/ryouritsu/index.html>

- ・「ダイバーシティ経営企業100選」ベストプラクティス集を公表【経済産業省】（2013年5月）

経済産業省は今年3月、多様な人材を活用し、ダイバーシティ経営を実践している企業43社を「ダイバーシティ経営企業100選」に選定しました。このたび、受賞企業43社の取組事例をまとめたベストプラクティス集を作成しました。

⇒ <http://www.meti.go.jp/press/2013/05/20130516001/20130516001.html>

・若者・女性活躍推進フォーラムを開催【内閣府】（2013年5月）

若者や女性の活躍促進策について検討するため、第8回フォーラムが5月19日に開催され、若者・女性活躍推進フォーラム提言がとりまとめられました。

⇒ <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/ywforum/>

・「女性国家公務員の活躍事例集」（平成24年度版）のホームページ公開【総務省】（2013年5月）

総務省人事・恩給局では、昨年に続き、女性国家公務員の採用・登用を一層促進するため、全国各地で勤務する23名の女性国家公務員の活躍ぶりについて、「ロールモデル」として紹介した「女性国家公務員の活躍事例集」を公開しました。

⇒ [http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/01jinji02\\_02000080.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01jinji02_02000080.html)

#### ●地方公共団体の動き

・平成25年度女性のチカラを活かす企業認証制度【宮城県】（2013年5月）

女性も男性も働きやすい職場づくりやワーク・ライフ・バランスに取り組む企業を応援するために、宮城県では「女性のチカラを活かす企業認証制度」を実施しています。平成25年度より、女性のチカラを活かす企業認証制度が一部変更となりました。

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/h24poji-2.html>

・東京ワークライフバランス認定企業ワークライフバランスに取り組む企業募集のお知らせ【東京都】（2013年5月）

東京都は、仕事と生活の調和の実現に向けて、優れた取組を行っている中小企業等を「東京ワークライフバランス認定企業」として選定しています。応募企業（書類審査あり）には、コンサルティング（無料）を実施し、取組推進に役立つアドバイスを行います。

認定企業については、取組内容を紹介するPR用DVDやリーフレットを都が作成するほか、「ワークライフバランスフェスタ東京2014」（平成26年1月予定）で取組を紹介するなど広く周知します。今年度募集を開始しますので、是非ご応募下さい。

（募集期間：平成25年5月8日～7月31日）

⇒ <http://www.metro.tokyo.jp/INET/BOSHU/2013/05/22n58200.htm>

・東京都中小企業ワークライフバランス実践支援事業の実施【東京都】（2013年5月）

東京都は、仕事と育児・介護等家庭生活との両立（ワークライフバランス）の推進に取り組む中小企業の事業主の皆様を応援するため、新たに東京都中小企業ワークライフバランス実践支援事業（ワークライフバランス推進助成金、ワークライフバランス推進専門家派遣、ワークライフバランス研修会）を開始します。

⇒ <http://www.metro.tokyo.jp/INET/BOSHU/2013/05/22n5d200.htm>

・平成 25 年度「元気とやま！仕事と子育て両立支援企業」の募集【富山県】(2013 年 5 月)  
富山県では、仕事と子育てを両立しながら働くことのできる職場環境づくりに積極的に取り組み、その成果をあげている企業を募集しています。その中でも、優れた取り組みを行っている企業を表彰し、セミナーや HP 等で紹介します。

(募集期間：平成 25 年 5 月 1 日～6 月 30 日)

⇒ [http://www.pref.toyama.jp/cms\\_sec/1303/kj00009327.html](http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1303/kj00009327.html)

・子育てハンドブックの作成【山梨県】(2013 年 4 月)

これから出産、育児をする親が安心して子育てに取り組めるよう、子育て支援に係る様々な制度等を紹介した「子育てハンドブック」を作成しました。「パパの子育て応援します」や「働くママ&パパをサポート」についても記載されています。

⇒ <http://www.pref.yamanashi.jp/jidou/64335304321.html>

・企業向け実践マニュアル及びワークライフバランス Q & A 集を作成【石川県】(2013 年 4 月)

石川県では、ワークライフバランスの取組について、県内外の企業での取組の流れと導入のポイント等をふんだんに掲載したマニュアルと、労働者等からの疑問に他の労働者や専門家がアドバイスをする Q & A 集を作成しました。企業向け実践マニュアルについては、企業等の方に無料で配布します。

⇒ <http://www.i-oyacom.net/wlb/>

・「パパ子育て講座 (H25 年度)」受講団体を募集【石川県】(2013 年 4 月)

父親の子どもの接し方や家庭での役割等についての理解を深めるための出前講座 (無料) の受講団体を募集します。

(申込締切：平成 26 年 2 月 28 日)

⇒ [http://www.i-oyacom.net/wlb/news\\_sub.php?wt\\_no=102](http://www.i-oyacom.net/wlb/news_sub.php?wt_no=102)

・いしかわ男女共同参画推進宣言企業を募集【石川県】(2013 年 4 月)

石川県では、「ポジティブ・アクション推進の取組」「ワークライフバランス推進の取組」「その他 (男女が共に働きやすい職場環境づくり等) の取組」等の男女共同参画推進の具体的な取組を宣言する企業等を募集し、「いしかわ男女共同参画推進宣言企業」として認定しています。広報や各種情報の提供等によりその取組を支援するとともに、取組事例を広く県民等に紹介します。

⇒ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/danjo/suisinkigyoun/ninteiseido.html>

・育メン休暇応援【広島県】(2013 年 3 月)

広島県は、育児、子育てにおいて、さまざまな施策を展開しています。それは単に子育て

て家庭への支援にとどまらず、育メン休暇応援制度やいきいきパパの育休奨励金をはじめとした職場環境の整備、さまざまな情報提供サービス、社会的気運の醸成など多岐に渡ります。仕事も家庭も両立できる社会を実現するためのカギになるのが育メン休暇です。

⇒ <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/244/ikumenkyuka.html>

・女性従業員向け研修に講師を無料で派遣【熊本県】(2013年5月)

女性の能力活用に取り組む企業等を支援するため、熊本県では、女性従業員のキャリアアップを目的としたセミナーを実施する企業等へ、専門家を講師として無料で派遣します。(申込受付期間：平成26年2月末まで)

⇒ <http://furusato-shigotonet.jp/news/newsdetail.php?id=31>

・仕事と家庭の両立支援等アドバイザー派遣制度の実施【熊本県】(2013年5月)

熊本県では、従業員の職業生活と家庭生活との両立を支援するための取組み、その他、誰もが働きやすい職場環境づくりに取り組もうとする中小企業の皆さんのために、アドバイザー(社会保険労務士)を無料で派遣し、相談に応じたり、助言を行うなど、取組みへのお手伝いをします。

(申込期間：平成26年2月末まで)

⇒ <http://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/61/shigototokatei-adobaiza.html>

・平成25年度ワーク・ライフ・バランス推進企業認定希望企業を募集【東京都港区】(2013年4月)

港区では、仕事と子育ての両立支援や、男女がともに働きやすい職場の実現に向けてワーク・ライフ・バランスの取組を推進している中小企業を「ワーク・ライフ・バランス推進企業」として認定し、その取組を応援します。

(申込：平成25年4月30日～7月26日)

⇒ <http://www.city.minato.tokyo.jp/jinken/kurashi/hewa/danjo/25worklifebalance.html>

・ワークライフバランス費用助成企業の募集【東京都品川区】(2013年5月)

品川区では、企業のワークライフバランスに係るコンサルティングを受けた際のコンサルティング料(平成25年4月～26年3月までの間に受託し、または完了する予定のもの)を助成します。このたび、助成企業を募集します。

(申請期間：平成25年4月30日～7月31日)

⇒ <http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/hp/menu000014500/hpg000014415.htm>

・ワーク・ライフ・バランス推進認定企業募集【東京都文京区】(2013年5月)

文京区では、男女が共に働きやすい職場環境づくりやワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の実現に向けた取組みを行う企業を募集しています。

(認定企業募集：平成 25 年 5 月 1 日～8 月 30 日)

⇒ [http://www.city.bunkyo.lg.jp/sosiki\\_busyo\\_danjo\\_danjo\\_wlb.html](http://www.city.bunkyo.lg.jp/sosiki_busyo_danjo_danjo_wlb.html)

・中小企業ワーク・ライフ・バランス推進コンサルティング派遣【東京都足立区】(2013 年 5 月)

経営コンサルタントが会社を訪問して、業務の効率化や生産性の向上を進めるための提案を行い、残業時間の削減など企業の実情に合った方策で、企業経営の安定とワーク・ライフ・バランスの実現を進めます。コンサルタント派遣に要する費用は、区が負担します。

(募集期限：平成 25 年 7 月 12 日必着)

⇒ <http://www.city.adachi.tokyo.jp/sankaku/shigoto/chushokigyo/work-life-consul.html>

・市内 7 区で『パパスクールを開催』【神奈川県横浜市】(2013 年 5 月)

育児を楽しみ、自分も成長する男性“イクメン”が増えています。横浜市では、育児についてもっと知りたいというパパたちの声に応え、パパが主役の子育て講座を開催し、パパの学びとパパ友作りを応援しています

⇒ <http://www.city.yokohama.lg.jp/kodomo/kikaku/wlb/file/0509press.pdf>

・「真のワーク・ライフ・バランス」推進企業支援補助金に係る申請企業の募集【京都市】(2013 年 5 月)

京都市内の企業で働く労働者の仕事と家庭生活及び地域活動、社会貢献活動の調和を図り、「真のワーク・ライフ・バランス」を推進するために、中小企業が行う様々な取組を支援する京都市「真のワーク・ライフ・バランス」推進企業支援補助金の申請企業を募集します。

(公募期間：平成 25 年 5 月 7 日～7 月 8 日)

⇒ <http://www.city.kyoto.lg.jp/bunshi/page/0000147739.html>

●イベント (開催日順に掲載)

・あすてらすフェスティバル 2013【主催：公益財団法人しまね女性センター】

日時 平成 25 年 6 月 8 日 (土) 10:00～16:00

(オープニング 10:00～10:15、分科会 10:30～12:00、講演 14:00～15:30、県民自主企画 (展示・販売・ワークショップ) 終日開催)

場所 県立男女共同参画センター あすてらす

講演 『介護は介互「まさかの坂」も越えられる 男女共同参画のススメ』

厚生労働省 政策評価に関する有識者会議 委員、

東レ経営研究所ダイバーシティ&ワークライフバランス研究部長 渥美由喜氏

参加費 無料

⇒ <http://www.asuterasu-shimane.or.jp/swc/jigyo/h25-boshu.html#h25fes>

・労働セミナー【主催：東京都】

日時 平成25年6月11日（火）18:30～20:30

場所 東京しごとセンター（飯田橋）地下講堂

講演 「女子力アップ！働く女性のキャリアデザイン&ライフデザイン」  
（株）キャリアエーラ 代表取締役 藤井佐和子氏

対象 女性労働者、その他関心のある方

定員 150名（定員に達した時点で受付終了）

参加費 無料

⇒

[http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/seminarform/index/detail?kanri\\_bango=seminar-zc-huo-000377](http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/seminarform/index/detail?kanri_bango=seminar-zc-huo-000377)

・労働セミナー【主催：東京都】

日時 平成25年6月12日（水）18:30～20:30

場所 江東区商工情報センター カメリアプラザ9階ビジネスホール

鼎談 「女性がキャリアを積み上げていくには」  
キャリア相談室 小澤佳代子氏、社会保険労務士 諸星裕美氏、  
木場ハローワーク 山片健司氏

対象 働いている方、その他関心のある方

定員 80名（定員に達した時点で受付終了）

参加費 無料

⇒

[http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/seminarform/index/detail?kanri\\_bango=seminar-kame-000056](http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/seminarform/index/detail?kanri_bango=seminar-kame-000056)

・労働セミナー【主催：東京都】

日時 平成25年6月19日（水）18:00～21:00

場所 東京しごとセンター（飯田橋）地下講堂

講演 「今求められている“企業における女性の活躍”を考える」  
明治大学 情報コミュニケーション学部 教授 牛尾奈緒美氏

対象 事業主、人事労務担当者、その他関心のある方

定員 150名（定員に達した時点で受付終了）

参加費 無料

⇒

[http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/seminarform/index/detail?kanri\\_bango=seminar-zc-huo-000378](http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/seminarform/index/detail?kanri_bango=seminar-zc-huo-000378)



・男女共同参画社会づくりに向けての全国会議「いまこそ、女性の活躍を！～みんなで考え、みんなで変える～」【主催：内閣府】

日時 平成 25 年 6 月 28 日（金）13:00～16:00

場所 メルパルクホール東京（東京都港区）

定員 1,500 名（先着順）

基調講演 「女性の活躍が切り拓く日本の未来」

昭和女子大学 学長 坂東眞理子氏（「女性の品格」著者）

パネルディスカッション など

参加費 無料

⇒ <http://www.gender.go.jp/public/event/2013/zenkoku/annai.html>

.....

《統計・調査トピックス》

今月のテーマおよびワーク・ライフ・バランスに関連した調査についてご紹介します。

●父親の育児に関する調査研究～育児休業取得について【財団法人子ども未来財団】（2011年3月）

本研究では、男性の育児休業取得を促進する職場の要因を明らかにすることを目的に、アンケートおよびヒアリング調査、分析を行いました。

調査結果から、「男性の育児休業の取得を促進させる要因は「育児休業取得を決断する」段階と、「育児休業の取得を決め、育児休業を取得するにあたっての職場における対応」の段階で異なることが明らかになった。」としています。また、「男性の育児休業取得の促進に向けた課題」（企業、職場の管理職、男性（およびそのパートナー）それぞれの課題）についても記載されています。

⇒ [http://wlb.iss.u-tokyo.ac.jp/material/pdf/ikuji2010\\_report.pdf](http://wlb.iss.u-tokyo.ac.jp/material/pdf/ikuji2010_report.pdf)

●父親の育児参加に関する世論調査【一般社団法人中央調査社】（2012年9月）

中央調査社では、「父親の育児参加に関する世論調査」を1999年から毎年継続実施しています。今回の調査では、

・「父親も母親と育児を分担して、積極的に参加すべき」が45.0%（昨年39.1%、一昨年34.7%）で増加傾向、「父親は外で働き、母親が育児に専念すべき」は8.5%（昨年6.6%、一昨年8.7%）で今年は一昨年とほぼ同じ割合

・「育児に参加していた（している）」は84.3%（昨年85.1%、一昨年81.7%）と8割超

・育児参加できない理由として「仕事におわれて、育児をする時間がとれないから」を挙げた人の割合が 71.5%（昨年 67.2%、一昨年 66.2%）で最多、2 番目に多かった「育児は女性の仕事と考えているから」の 37.2%（昨年 33.5%、一昨年 31.9%）と 30 ポイント以上の差等の結果が得られています。

⇒ <http://www.crs.or.jp/backno/No659/6592.htm>

.....

《編集後記》

先日、研修で各自治体のワーク・ライフ・バランス担当者の方々とお会いしましたが、それぞれの各自治体における施策について、悩みや工夫点など活発に意見交換されており、同席させていただいた私にとっても、たいへん有意義な時間となりました。担当者同士、横のつながりがどんどん広がって、新しい発想や効果的な施策に発展すれば本当にいいなと思います。(あ)

.....